

# 大阪市立大学全学 FD 事業 第16 回教育改革シンポジウム (大学教育学会 2009 年度課題研究集会兼創立 30 周年記念事業との共同開催)

[全体テーマ]

## 学士課程における教養教育再考

日時: 2009 年 11 月 28 日(土) 午後 1 時～6 時(特別記念講演+シンポジウム)

場所:【外部会場】御堂会館(南御堂)大ホール(裏面地図参照)

(地下鉄「本町」駅下車 5 分:大阪府中央区久太郎町 4-1-11)

学内参加者:参加費 無料

12:00～ 受付開始 (御堂会館 3 階大ホールロビー)  
13:00～ 開会挨拶 学長挨拶 金児 暁嗣 (大阪市立大学)  
大学教育学会会長挨拶 小笠原 正明 (筑波大学)

13:30～ 特別講演 (大学教育学会創立 30 周年記念)

「教育への問いかけ」 講師 鷲田 清一 (大阪大学 総長)

特別講演講師紹介 寺崎 昌男 (立教学院・大学教育学会前会長)

14:30～14:50 休憩

14:50～【シンポジウム I】

テーマ:「学士課程における教養教育のあり方」

シンポジスト: 後藤 邦夫 (学術研究ネット)

「「教養教育」の再定義とカリキュラムの設計、運営、評価」

藤田 英典 (国際基督教大学)

「グローバル化時代の学士課程教育と教養教育」

奥野 武俊 (大阪府立大学)

「学修成果目標の策定とそれに基づく教養教育のあり方」

コメンテーター: 関根 秀和 (大阪女学院大学)

司会者: 松岡 信之 (国際基督教大学) ・ 山田 礼子 (同志社大学)

総合司会者: 矢野 裕俊 (大阪市立大学)

本学では、全学 FD 事業の一環として 15 年にわたり、大学教育をめぐる知識共有の場として教育改革シンポジウムを開催してまいりました。第 16 回目の今回は、大学教育学会(及び同創立 30 周年記念事業委員会)との共催により、外部会場において、上記の通り開催いたします。

昨年末の 中教審答申「学士課程教育の構築に向けて」では、従来の学部・学科等の縦割りの教学経営を見直し、学士という学位を与える課程(プログラム)を中心とした考え方を【学士課程教育】と表現しています。そして、その内容を「教養教育」と「専門基礎教育」が中心であると説明していますが、「教養教育」の内容については、「教養の意味・内容をめぐっては、多年にわたって様々な議論のあるところであるが、…」として、具体的な記述がなされてはいません。そのため、専門基礎教育とは異なる内容の「教養教育」の内容とは何か、その学習成果はどのような尺度で見ることができるのか、21 世紀型市民に必要な教養とは…と多くの検討課題が残されているように思えます。

大学教育学会では課題研究として「教養教育の評価」を取り上げてきました。今回、そこでの成果と現在の学士課程教育の課題との関連を整理しておきたいと思ひます。また、日本学術会議では「大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会」の下に、「教養教育・共通教育検討分科会」が設置されました。ここでの議論の内容も理解しておきたいと思ひます。さらに、学士課程教育の充実に向けて「教養教育」をどのように実施しようとしているかという事例に基づいた検討もしたいと思ひます。

「教養教育」についてはこれまでも様々な議論が繰り返されましたが、【学士課程教育】という概念を切り口として、改めて検討してみたいと思ひます。

皆さまには、万障お繰り合わせの上、宜しくご参集下さいますようお願い申し上げます。

なお、当日参加も大歓迎致しますが、準備の都合上、できれば事前に参加人数を把握させていただきたいと存じます。参加を希望される方は、お手数ですが、大阪市立大学大学教育研究センターまで、氏名・所属・連絡先(E-Mail・TEL)とともにメールあるいは FAX にてご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

主催・申込先: 大阪市立大学 大学教育研究センター【[center@rdhe.osaka-cu.ac.jp](mailto:center@rdhe.osaka-cu.ac.jp)】 Fax : 06-6605-2137